

協働の地域づくり活動方針について

令和 5 年 9 月 2 7 日

令和 5 年度第 1 回荒尾市地域づくり推進委員会

1. 令和4年度の活動報告について

- (1) ぐらしいきいき課の取り組み
- (2) 各地区協議会の活動状況



2. 今年度の活動方針について

- (1) これまでの本市の協働の地域づくりについて
- (2) 地区別計画とは
- (3) 地区別計画推進において重要と見込まれるテーマ（案）

3. 地域運営組織の課題について

- (1) 全国の地域運営組織の活動実態
- (2) 地区協議会の課題・今後の展望

1.令和4年度の活動報告について

(1) 楽しいいきいき課の取り組み

➤ 地区協議会パンフレットの作成

これまでの地区協議会の歴史や各地区のイベントの紹介等をまとめたパンフレットを昨年度作成。現在、市内公共施設（荒尾市立図書館・文化センター・小岱工芸館・みどり蒼生館・メディア交流館等）に配付。

➤ 荒尾市公式LINEを活用した地域情報発信（随時）

これまで、地区協議会などの地域活動情報について、市のホームページや広報誌等を活用してきた。昨年度から荒尾市公式LINEを活用し、地区協議会のイベントや広報誌等を発信。

➤ 協働の地域づくりに関する職員研修の開催（年1回） ※主に地区担当職員対象

毎年、職員を対象にした協働の地域づくりについての研修会を実施している。これまで、協働の地域づくりの重要性、地域づくりを推進するための研修等を実施し、昨年度は本会の会長である澤田氏から協働の地域づくりの重要性について学んだ。

➤ 市民団体向けの研修会の開催（年1回）

毎年、市民団体の関心が高いテーマについて、市民活動支援講座を開催している。これまで、活動のPRを行うための効果的なチラシの作り方や写真の撮り方講座などを行っており、また近年では、ICTを活用した情報発信等の講座を実施。昨年度は、地区協議会の役員等を対象にファシリテーター講座を実施。

1. (2) 各地区協議会の活動状況

地区名	イベント名	地区名	イベント名
荒尾	<ul style="list-style-type: none"> ・音と光の祭典 ・どんどや 等 	平井	<ul style="list-style-type: none"> ・鯉のぼり祭り ・平井史跡ウォーキング ・平井スピリッツ発行 等
万田	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方市 ・のあそびフェスティバル 等 	府本	<ul style="list-style-type: none"> ・カライモ掘り大会 ・紅葉狩りウォーク 等
万田中央	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ門松づくり ・未来のお仕事塾 等 	八幡	<ul style="list-style-type: none"> ・やはたの文化祭 ・子ども消防団 ・やはた地区協議会便り発行 等
井手川	<ul style="list-style-type: none"> ・万田公園前花壇整備 ・防災ウォーキング大会 等 	有明	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ大会 ・親睦運動会 等
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ大会 ・ペタンク大会 等 	清里	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校通学路清掃 ・玉ねぎ販売会 等
緑ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・道路美化作業 ・みどりまつり ・地区協議会ニュース発行 等 	桜山	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいげんきまつり ・桜山クリーン作戦 等

1. (2) 各地区協議会の活動状況

➤ カライモ掘り大会（府本地区協議会） 9月25日（日）

このイベントは前年度で18回目を迎え、荒尾市内の方はもちろん、市外の方にも味の良さが評判を呼び、毎年、300名を超える人が来場。参加費は無料で、カライモ販売の他、カライモ掘り体験などを行った。



➤ みどりまつり（緑ヶ丘地区協議会） 11月20日（日）

毎年緑ヶ丘小学校で開催しており、地元の小学生・中学生によるステージイベントや絵画の作品展示会などを実施。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で3年間中止にしていたが、出店等も復活し、本来の規模で開催。



➤ クリーン作戦（八幡地区協議会） 9月11日（日）

昨年度初の取り組みで、九州看護福祉大学の授業の一環で、地域団体が実施している活動に学生が参加し、コミュニケーション能力及び看護学生としての基本的な態度を養う目的に大学の実習科目として導入。当日は学生と参加者でコミュニケーションを取りながらゴミ拾いを行いました。



2.今年度の活動方針について

(1) これまでの本市の協働の地域づくり



R1年～

- ・地区担当職員制度導入
(地域課題の解決に向けた支援)
- ・地区別計画の策定(各地区の課題や
目指す姿の設定)

H24年～

- ・協働の地域づくり推進条例の制定
- ・地区協議会の設立 (社会教育連絡協議会
(地域の各団体の代表者で構成する連絡調整組織)
の位置付けの見直し、元気づくりとの統合、協働の地域
づくり交付金の制度化など)

H15年～

- ・協働のまちづくり推進指針の策定(住民自治の領域拡大による自治
システムの構築、質の高い分権型社会・行財政改革の実現)
- ・元気づくり委員会の設立 (住民参加による協働の実践・住民自治拡大)

協働の地域づくりを推進するため、地域における組織体制を整備するとともに、協働の地域づくり交付金を通じて、地域の主体的な活動を支援している。

2. (2) 地区別計画とは

✓ 地区別計画策定（令和2年に策定）

地域住民同士・地域と行政などで課題認識を共有し、役割分担のもと対策を検討することが重要であることから、第6次総合計画の策定に合わせ、地域ごとの課題や特性、地域の目指す姿や取り組みの方向性などをまとめた地区別計画を令和2年に策定。

策定にあたっては、地区ごとに3回ずつワークショップを行い、地域住民が抱える困りごとを広く集約することで地域の課題を見つめ直すとともに、目指す姿やその実現に向けた取り組みなどについて地域住民同士で対話を行い、多様な意見を反映させたものとしている。

★地区別計画策定までの流れ（ワークショップ）

○第1回目

・地区の「困りごと」「自慢」について各グループで出し合う。



○第2回目

・「困りごと」や「自慢」を踏まえ、「困りごとを解決するとどんな地区になるか」「今ある魅力や取り組みを生かして、どんな地区にしていきたいか」を話し合う。



○第3回目

・地区の目指す姿を実現するための取り組みについて、市長を交えて検討。その後、市長から課題解決に向けた市の取り組みなどについて説明。

地区別計画に基づく具体的な事業考案を進めていく予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、地域の会議が通常通り実施できなかったことから、当事業は停滞しているところである。

しかし、今年度、新型コロナウイルスも2類から5類移行し、地域活動も再開しつつあるので、本課と地区担当職員等と連携し検討していく。

2. (3) 地区別計画推進において重要と見込まれるテーマ（例）

- ▶ 地区別計画に係る事業について、スケジュールや、庁内関係課、関係団体との調整等の観点から来年度実施に向け、本年度は、地区担当職員・本課職員・地域との協議を進めていきたいと考えている。
- ▶ 各地区取り組みテーマ候補（案）を検討の上、各地区の会長と協議を行う予定。



テーマ
(案)

①.地域防災力の強化

《現状・課題》

- ・地区別防災計画や災害時要援護者支援計画などの策定が進められており、災害時に支援が必要な市民をいかに隣近所・地域で見守り、支えるかが課題。
- ・各自治会の公民館等において、避難所運営・管理している地域は荒尾市ではほとんどない。

例

- ・防災部会の設立支援・参画
- ・防災体制の確認・課題等への対応
- ・地区単位での防災訓練

②.地域福祉の充実

《現状・課題》

- ・コロナ禍で高齢者等の外出機会低下、社会的孤立が課題。
- ・民生委員の欠員率は県内最高で、人材発掘や担い手育成も課題。
- ・移動手段や買い物などの日常生活を維持するサービス確保が課題。

例

- ・生活支援（買い物支援・移動手段）の普及・拡大
- ・地域福祉部会の設立・参画（社協と連携）

3.地域運営組織の課題について

(1) 全国の地域運営組織の活動実態

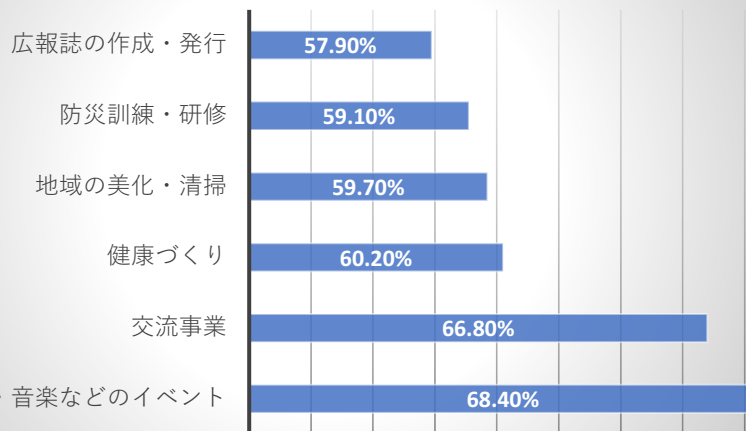
- ✓ **団体数** : 地域運営組織が形成されている市区町村は853市区町村であり、令和3年度（814市区町村）から39市区町村増加。
- ✓ **活動拠点** : 活動拠点を有する団体が95.3%、このうち66.5%が公共施設を使用。
- ✓ **活動内容** : 祭り・運動会・音楽などの運営（68.4%）が最も多く、交流事業（66.8%）、健康づくり（60.2%）、地域美化・清掃（59.7%）防災訓練・研修（59.1%）などが続く。
- ✓ **収入** : 「市区町村からの助成金・交付金等」が84.0%と最も多い。
- ✓ **課題** : 活動の担い手となる人材不足（76.1%）が最も多く、団体の役員・スタッフの高齢化（56.7%）、次のリーダーとなる人材不足（56.2%）が続くなど、人材に関するものが多い。

全国市長町村
数1,724自治体

全国の市区町村
の半数以上
で形成

本市も同じよ
うな現状課題

地域運営組織の主な活動



地域運営組織が形成されている市区町村数

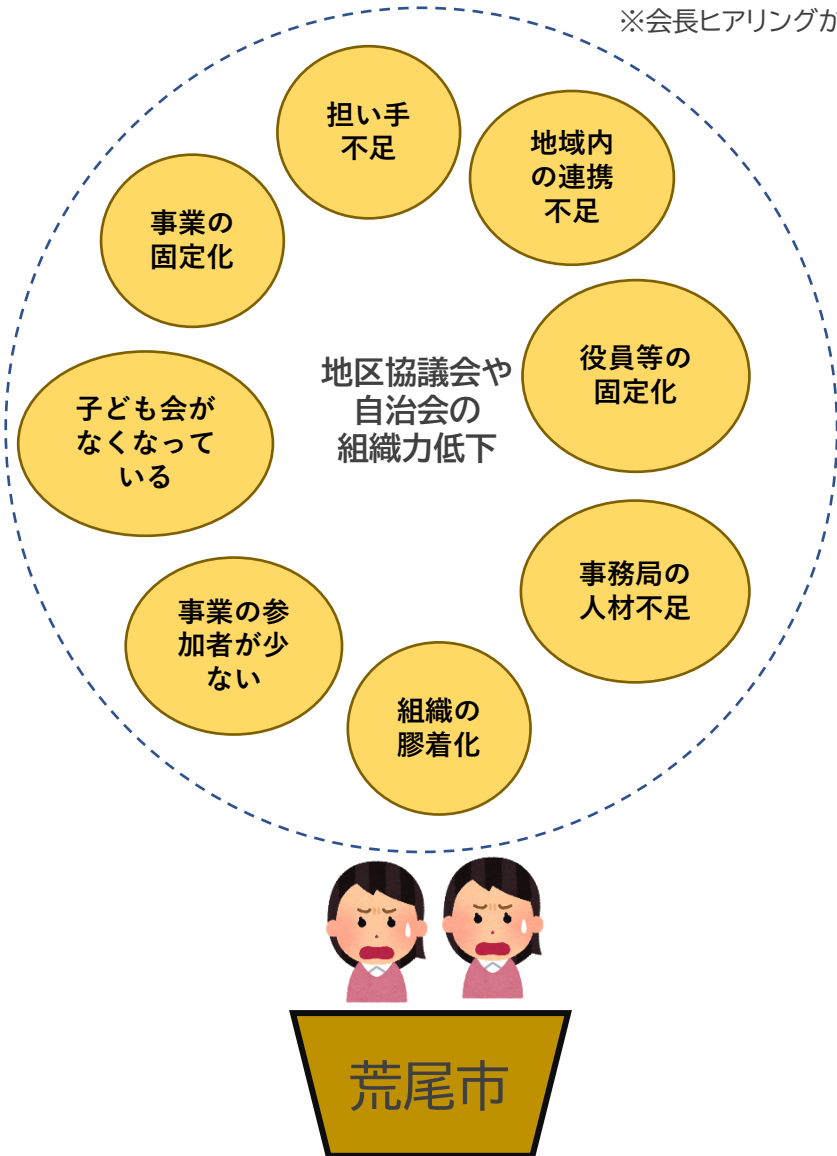


※令和4年度 総務省調査（市区町村：1,730団体、地域運営組織：7,207団体が回答）

3. (2) 地区協議会の課題・今後の展望

地区協議会の課題

※会長ヒアリングから抜粋



○『地区協議会の現状・課題』

- ・ **コミュニティ活動の担い手の減少**
⇒人口構成や世帯構成の変化によりコミュニティ活動へ参加する人や時間が減っていくことが予想される。
- ・ **組織体制の膠着化**
⇒地域の役員の負担が大きくなっていることで課題解決や改善が図られず、また担い手不足等により、組織体制が膠着化している。
- ・ **地域活動やコミュニティの維持が困難**
⇒住民の地域コミュニティに対する意識低下、地域活動に対して無関心。

これらの状況を踏まえ...

人口減少や高齢化に伴い、地域コミュニティの維持が難しくなっている地域も見受けられる。また、地区協議会が発足して10年以上が経過し、地域の担い手や中心となって進めてきた人の入れ替わりもあっているため、**今後の地域コミュニティのあり方について再度地域と行政と一緒に検討することが必要。**

更に、地区協議会の円滑な運営を図るための**仕組みづくりが不可欠**であり、今後の共通の基本方針となる指針などの策定を検討していきたい。